

ひろば いきいき広場

平成26年11月14日

No.22

枚方市子ども青少年課

電話 072-841-1375

(ダイヤルイン)

FAX 072-843-2244

アドレス:

kodosei@city.hirakata.osaka.jp

田口山校区 子どもいきいき広場

九月七日、毎年恒例のそうめん流しが行われました。お天気にも恵まれ、百二十六名の児童が参加してくれました。

山田池公園から切り出した竹で作ったレーンの周りにスタンバイした子どもたちは、お箸を手に流れてくるそうめんを待ち構えていました。時にはチヨコ・ゼリー・ブドウ・団子、色んなものが流れてきます。みんな我先にゲ



ットしよ
うと大は
しやぎで
した。同
時に体育
館ではゲ
ームコー
ナーが用
意されて
います。
一円玉落
とし・ス
トラック

アウト・スパーボールすくい・縄跳びチャレンジ。子どもたちはそれらを順番に回り、そうめんをお腹いっぱい食べて楽しい一時を過ごしました。皆さんは、小学校の「いきいき広場」で行われている催しに参加したことがありますか。

田口山小学校では、コミュニティ協議会主催の元PTA・お父さんの会等と協力し毎週土曜日午前中に実施しています。和太鼓・英語・フラワールアレンジ



ジ、バレー・バトミントン等のスポーツ、ケーキ作り・かき氷等たくさんのプログラムを用意しています。毎月配布している「いきいきどっとCome on」のプログラムをチェックしてぜひ参加してみたいですね。地域のおっちゃん・おばちゃんたちがボランティアとしてみんなを待っています。

平成二十六年 第二回

枚方子どもいきいき広場 代表者会議

十月二十一日(火) 午後七時

十月二十一日に各実施団体の代表者の方々による第二回の会議を開催しました。多くの代表者の方々に参加をいただいたこの会議では、子ども青少年課からの説明と参加者からの質問があり、有意義な会議となりました。

子ども青少年課からは、

- ① 平成二十七年実施団体の申請に関して
- ② 事務連絡として

- ・ 監査委員事務局による監査の結果について
- ・ 情報交換資料について
- ・ インフルエンザ・ノロウイルス、微粒子状物質PM2.5の対応について

・ 調理プログラムに係る衛生管理についての説明を行いました。

この中で、インフルエンザの予防、インフルエンザ・ノロウイルス等の発生時の対応については、次ページに記載するとともに、微粒子状物質PM2.5等については四ページに記載しています。

香陽校区

子どもいきいき広場



香陽校区子どもいきいき広場は「サタデー・あい」として年間四十二回、地域とPTAが協力して楽しいプログラムを行っております。年三回の「先生といっしょに」では学校の先生方が主催で、年七回の「PTAふれあい活動」はPTAの各委員さんが様々なプログラムで子どもたちを楽しませてくれています。



星の人形を乗せて、小学校を出発。観音山公園の牽牛石も行きました。みこしを初めて見る子、手作りとは思えない豪華なみこしを見てびっくりする大人。六班に分けて一時間づつ子どもたちの居住地域をまわりました。地域・PTAの大人たちが、みこしの安全巡行を支え、子ども百五十人、大人二百人が参加しました。地域を巻き込み、子どもたちの笑顔をたくさんの方に見ていただきました。沿道での声援も暖かく大いに盛り上がりました。

このような行事こそ、学校生活で味わえない「サタデー・あい」の醍醐味ではないでしょうか。もちろん恒例の「作って食べよう」「そうめん流し」「正月遊び」「パソコン教室」「茶道」「サッカー教室」「野球教室」「卓球」なども行っております。



インフルエンザの予防

インフルエンザが流行する季節になりました。インフルエンザは流行性疾患であり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。正確な情報に基づき、一人ひとりが予防心がけ、協力して自分の学級、また家庭や地域を守ることに意識を向けるようにしてください。

★予防の第一は手洗いとうがいです。感染防止には、こまめに手を洗いましょう。また、外から帰った時は手洗いと同時に、うがいも忘れずに行いましょう。

★せき、くしゃみやみ等の症状のあるひとはマスクをつけましょう。マスクをしていない場合はティッシュなどで口と鼻をおおい、顔を人に向けて、一メートル以上離れましょう。

★急な発熱とせきやのどの痛みなどの症状があり、インフルエンザにかかったのではないかなと思ったら直ぐに医師に診てもらってください。その時受診しようと思っておられる医療機関にまず電話をして、受診できるかを確認してください。

インフルエンザ・ノロウイルス等の発生時の対応について

子どもいきいき広場の実施日がインフルエンザ・ノロウイルス等で学級閉鎖・学年閉鎖の期間中の場合は、感染拡大防止等の観点から、その学級・学年の児童は、「いきいき広場」に参加できません。また、インフルエンザ・ノロウイルス等の罹患児童の兄弟、姉妹も参加できません。実施日の前日までに閉鎖が解けた場合は、参加できません。

なお、実施日が学校閉鎖の期間中の場合は、「いきいき広場」の活動は中止です。

菅原東校区 子どもいきいき広場

「てらこや友遊」 田植え体験

菅原東小学校いきいき広場は「てらこや友遊」の愛称で毎週土曜日、年四十八回の開催で福祉委員会、大阪国際大学生及び台湾、中国等のボランティアその他、地域のボランティアにより、囲碁将棋教室、クラフト教室（物を作って、使って楽しい）レッツスピークイングリッシュ（留学生によるレッスン）、サッカー（大阪国際大学サッカー部員の指導）など、たくさん企画を立て地域の委員さんたちの協力のもと運営されています。

今回は、活動の一つ「田植えから収穫まで」の児童の様子をご紹介します。
五月のはじめの大騒動です。

田んぼに入るとなると、最初は不安と泥水に抵抗を感じ、ためらっていました。大人たちの手解きを受けると直ぐ一斉に田んぼに入り田植えに挑戦。田んぼに尻餅をつく児童、田んぼから足が中々抜けない児童、足にヒルが吸着して



血を流していた児童もいましたが誰一人くじける子もいらず、和気あいあいと楽しく「田植え体験」をしました。

第二段階は

「稲刈り」カマを片手に収穫の喜び！

束ねて干す、突然の青大将にワーワーキヤーキヤー、バツタもつかまえました。そんな騒ぎの中でも児童の表情は実に楽しそうに輝いています。

第三段階は 秋に収穫したもち米でモチつき大会

大釜で蒸し、石うすでつき、手にするキネも声援

に力づけられ段々とうまくなり、丸めるお餅でお腹もいっぱい、笑顔もいっぱい、児童たちは、この年間を通しての体験から、お米の大切さを知り、各体験終了後は、カマドで炊き上げた黒豆入りの大きな「おにぎり」の昼食をほうばり午後からは、今は廃校となった村立、高尾小学校のグラウンド



で大阪国際大学のお兄さん、お姉さんとドッチボールやゲーム等をして超楽しい一日を過ごします。大学生と地域そして過疎の村との交流活動として根づいている活動の一つです。

田んぼのない菅原東校区の児童にとつての体験学習の場でもあり「てらこや友遊」の遠足でもあります。

アドバイザーの贈り物

今年度の「子どもいきいき広場」の活動も後半に入りました。

たくさん子どもたちが喜んで参加しています。これも各校区の関係者の方々のお陰と感謝しています。校区の実態に合わせ、創意工夫されながら子どもが興味・関心を持てる体育的、文化的、また季節らしさを感じさせる特色あるプログラムを企画し進められています。

毎月継続して行われるプログラムや毎年同じ時期に行われるプログラム、新しいプログラムなどを子どもたちは心待ちにし、元氣いっぱい当日の活動を楽しんでいます。

子どもの安全を第一に考えながらの「いきいき広場」の活動に校区の関係者の方々の日頃の思いが伝わってきます。ありがとうございます。

「いきいき広場」のさまざまな体験は、他人とともに協調し他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」を育んでいきます。

子どもたちの参加とともに保護者のみなさまの積極的な参加もお願いいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

アドバイザー N

平野校区

子どもいきいき広場

平野校区では関西外国語大学の協力のもと、平成二十四年度から始めた「英語で遊ぼう」が三年目を迎える事が出来ました。

「英語で遊ぼう」とは教員になりたいと夢を持つ大学生が主体となり、定期的を開催するものであり、本年度は計九回児童に英会話を身近に楽しんでもらうために行っており、当日は参加児童を学年単位で四クラスに分け、中身を工夫して実施しており、また、最後には全学年が集まりその時学んだことを発表することで児童も大変喜んでいきます。そして、定期的を開催することにより大学生と児童の信頼関係が築けるのを直感的に感じることができ、多人数ではあります、より実践



に近い環境で大学生に指導する場所の提供が出来ていと思えます。

さらに他のプログラムとしてお菓子づくりやスポーツ系、季節を感じるスイカ割り・焼き芋・餅つきなど沢山のプログラムを予定しております。



毎年一月には校区コミュニティ協議会に開催をいただいで移動動物園を開催しており、平野校区の全住民の方を対象に参加していただくことで新入生や、まだ「いきいき広場」に参加したことのない児童へのPRも行っています。

現在の参加児童数は平均八十名程度ですが、地域住民の方々と児童の交流の様子を広く発信していき、参加児童をさらに増やしていく事で、より多くの児童が地元愛を育んでくれる様に、今後も、いきいき広場HIRANOのメンバーが全力で精一杯指導していきます。

微粒子状物質PM2.5等について

十一月から翌年五月にかけては、PM2.5濃度が黄砂などで高濃度になりやすい時期です。そこで「いきいき広場」でも左記の通り環境省が示した注意喚起の暫定指針に基づく対応をお願いいたします。

☆早朝の注意喚起

午前五時から七時の時間値の平均が $80 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた場合 ↓ 七時十五分に発信

☆昼の注意喚起

午前五時から十二時までの八時間の平均濃度が $80 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた場合 ↓ 十二時十五分に発信

二・注意喚起の情報は、枚方市のホームページを經由して大阪府のホームページで見ることが出来ます。

三・PM2.5に関する注意喚起情報が出た場合に気をつけていただきたいこと

- ・屋外での長時間の激しい運動や外出をできるだけ減らすこと。
- ・屋内でも換気や窓の開閉を必要最小限にすること。
- ・呼吸器系や循環器系疾患のある方、小児・高齢者は体調に応じて、屋外活動や不急の外出を控えるなど、より慎重に行動すること。

編集後記

過しやうい季節になって「子どもいきいき広場」でも、様々なプログラムが実施されています。その活動等を紹介する機関紙として『いきいき広場』を隔月で発行していますが、十一月より枚方市のホームページに掲載しています。第一号から掲載していただきますので、是非ご覧ください。

枚方市ホームページ ↓ 組織一覧 ↓ 子ども青少年部 ↓ 子ども青少年課 ↓ 子どもいきいき広場について

今後とも「子どもいきいき広場」の活動にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当 U